

「横浜川崎港湾セミナーin ジャカルタ」を開催しました！

国土交通省が令和6年2月に公表した「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会最終とりまとめ」では、「集貨」「創貨」「競争力強化」の三本柱の取組を引き続き強力に推進していくこととされ、特に「集貨」においては、新たに「東南アジア等からの広域集貨に向けた輸送ルートの構築」が示されています。

これを受け、インドネシア共和国ジャカルタ首都特別州において、インドネシア運輸省、在インドネシア日本国大使館及び国土交通省をお招きし、船会社、物流事業者、荷主企業等を対象としたセミナーを開催し、150名を超える多くの方にご参加いただきました。

本セミナーにおいては、インドネシア運輸省、在インドネシア日本国大使館の御挨拶、国土交通省による「日本の国際コンテナ戦略港湾政策」の概要説明後、横浜市から、横浜港の概要と取り組み内容のほか、インドネシアから横浜港経由で北米に向けた輸送ルートの事例を説明し、横浜港を利用する利点を紹介しました。また、ジャカルタ～横浜の直航サービスを提供する船社である Ocean Network Express Pte. Ltd. (ONE) の取組、日本の ODA で開発が進められているパティンバン港関係者による港湾開発の状況、港湾運営についても紹介されました。

横浜市及び横浜川崎国際港湾株式会社では、国際トランシップ貨物量の増加と基幹航路の維持・拡大に向けて、引き続き国土交通省と連携して取り組んでいきます。

【プログラム 令和7年7月17日（木）10時～14時半】

- 主催者挨拶 横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 中井拓志（なかい・たくじ）
- 来賓挨拶
 - インドネシア運輸省
海運総局長 Muhammad Masyhud（ムハンマド・マシュフッド）氏
代読・海運総局港湾副局長
Komang Wisnu Dananjaya（コマン・ウィスヌ・ダナンジャヤ）氏
 - 在インドネシア日本国大使館 経済公使 上田肇（うえだ・はじめ）氏
- 講演
 - 国土交通省港湾局 港湾物流戦略室長 清水崇（きよみず・たかし）氏
 - 横浜市港湾局長 新保康裕（しんぼ・やすひろ）
 - PT Ocean Network Express Indonesia(ONE)
President Director, Country Head 渡邊啓慎（わたなべ・けいしん）氏
 - インドネシア運輸省
パティンバン港管理事務所長 Arief Agustian（アриф・アグスティアン）氏
 - PT. Pelabuhan Patimban Internasional (PPI)
Director, Dani Rusli Utama（ダニ・ルスリ・ウタマ）氏

裏面あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



●セミナーの様子



主催者挨拶をする YKIP 中井社長



講演する港湾局新保局長



多くの参加者を迎えたセミナー会場

問合せ先			
横浜市港湾局	物流運営課長	飯島 雄一郎	Tel 045-671-2873
横浜川崎国際港湾株式会社 総務部	総務課長	佐々木 義和	Tel 045-680-6636



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

